

南相馬ブログ新聞

南相馬市から5月19日土朝 2012-05-19 04:56:28

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/30afae690f683b0bf47d69ea52281fb1>

『蜂は知っていた』

チェルノブイリでの話です。庭にたくさんの巣箱を置いて養蜂をしていた老人の話ですが、事故の日の朝、まだ事故についてソ連政府は沈黙を守っていた時に、老人はいつものように朝起きて

庭に行きました。庭の木々が花を咲かせている時期でしたから、普段は庭に出ていくと、蜂のぶんぶんという羽音が聞こえていたわけですが、この日は静かでした、蜂が一匹も巣箱から出てきません、次の日の、その次の日もそんなふうでした。ラジオでもまだ事故の報道はありませんでしたから彼は蜂に何か起こったんだと、病気か何かか。

蜂が巣箱から出てきてやっと飛び始めたのは、事故後5日目から7日目になってからでした。

その後何年もたってから学者さんたちが言ったことによれば、ちょうどその頃、一番危険な時期が過ぎ去ったのです。放射性ヨウ素の危険がなくなったわけです。

人間は、ずっと後になってからそれを知りました。ラジオやテレビが沈黙していたというだけだなく、私たちは感覚器官が放射線をとらえることはできなかった、でもこの小さな生き物、蜂はそれを知っていました、ですから未来に対して、より備えができているのは誰なのか、誰がよりいっそう自らの命の主人であり、自らの命を生かしていくことができるのか、私達なのか、それとも蜂なのか。そして誰が誰に学ばなければならないのか、そういうことについて、年老いた農民と語り合いました。

この話は、サイヤ隣に来ていたNPO法人チェルノブイリ救援中部の方からいただいた、雑誌

チェルノブイリ 未来から示されたサインの中に掲載されていたものです。

震災後、感じていましたが、今年の夏前、ちょうど今の時期には例年であれば、蠅やクモがたくさん出て来るのですが、いやに、少なかつたように思いました、放射能の影響かな？と思っていました、人の放射線を調べることも大事ですが、小さな生物の生態への影響を調べることも大事なのではないでしょうか？

せつかくの、チェルノブイリからのサインを見落としてはならないのではないでしょね。

また、ボランティアなどの活動の仕方も見らなうことがあるのではないでしょか。

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

南相馬市から5月18日夜 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営んでいます。新鮮な話題をお届け！ 2012-05-18 19:23:30

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/84442999d9b4675103d647470d2c43a6>

『サイヤのおはぎ』

サイヤのおはぎ、頑張って作っています、家内が。昨年3月11日の震災の日に、サイヤのおはぎを入れるパックに張るロゴシールの最終打ち合わせをするはずでした。その業者は仙台にあるのですが、そこのデザイナーが11日の朝に担当者にメールでデザインのデータを送って、それを担当者がプリントアウトして、午後にサイヤに持ってくる予定でいました。しかし、震災になり、来ることが出来ず1年がたつてしまいましたが、本日、やっとサイヤに届きました、この中に使っている(野馬追の里)これが、商標権の兼ね合いがあり、承諾がいるようだということがわかり、昨年に手続きするはずでしたが、それも、止まってしまっていました。そして、このロゴのデザインをしてくれたデザイナーは今もいません、彼は震災の朝、このデザインを完成させデータを担当者に送ってくれましたが、地震がおきて、仙台港、近くの実家に向かっ

てしまったようです。それも奥さんと一緒に(奥さんも同じ職場だったようです)そして、津波の被害に遭い、二人とも還らぬ人になってしまいました。サイヤのおはぎのデザインが遺作になったようです。何とか、サイヤで使っていきたいと思っています。



**不平の多い人ほど … 弱い 負けてらんにかえ！み
んなでなんとかすっぺ！！**

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの
現地報告です。2012-05-15 18:20:08

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/606fe7900d5b1d4efc70b3ed8fe70464>

遠出

「感謝」などと言うと
古くさい道徳を持ち出すように思われるかもしれませんね。
しかしこれが古くさく見えるというなら
そのように見させる世のなかこそ
… まちがっているのではないのでしょうか。

人間の「強さ・弱さ」についていろいろと観察し 考えてみ
た結果
「不平の多い人ほど弱い」(弱い人ほど不平が多い)
… と思うようになってきました。

自分の成長過程にかえりみてもそうで …
不平・不満が減ってきたことが とりもなおさず
精神的に強くなってきたことにほかならないようです。

「不平のない人 少ない人が強い人」とは
… じつに簡明で 深遠な法則です。

不平の反対は「感謝」です。
であるならば 感謝という徳をもちだすことは 古くさいどころ
か …
不平ゆえに心の弱い人が かくも多い いまの世においては
ひとつの急務とさえいふべきではないでしょうか？

自由 個人主義 権利の主張 … などの はきちがえが
感謝とか「恩」とかの思想を忘却させ
その結果 不平 不満のたくましく人心に はびこり
そのまた結果
精神的な拠りどころをもたぬ 心弱き者たちが増えて
ノイローゼ社会(古い用語で申しわけなし)ともいふべき世相を
つくりだしてしまった … と考えるのが 正しい判断なのか
もしれません。

周辺にいる精神的にたくましい人たちを よく見てください。
かならず 彼らは

不平をもつことが少ない人たちであるはずで。 (ではありませんか ?)

もしあなたが 自分を いちじるしく弱いと自覚されるなら
あなたはまちがいでなく
他人一般よりも 不平が多いで人であるはずで。 (でしょう ?)

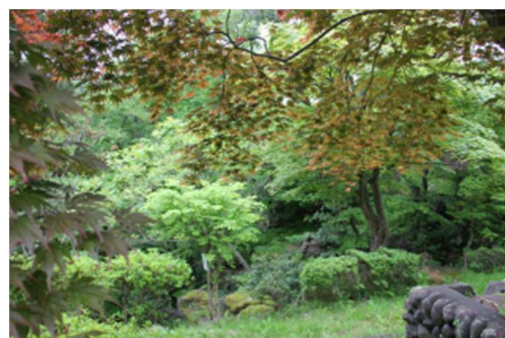
不平の少ない人が
強い人 幸福な人 人生をおもしろく生きることができる人。
不平の多い人は … その逆です。

たしかに たしかに … その通りであるにちがいません
ね。

自滅を救う … 捨て果てて

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報
告です。2012-05-19 09:00:44

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/12fd6ba96ae69f3663e1022c65b0adf9>



遠足

このところ 整理術の本で「断捨離」とかいうのが
多くの人々に読まれている … と聞きました。

無論 その内容の次元において 比較すべくもありません
が …

捨聖(すてひじり)と言われた一遍上人を 生き生きと描い
た …

故 坂村真民さんの「一遍上人語録 捨て果てて」という本が
あります。

その中に「捨」という詩があります。

捨は
空といつてもよい
無といつてもよい

菩薩の若さ
菩薩の美しさ
みなそれは
空からきている
無からきている

また捨は
まかせることである
木が美しいのも
花が匂うのも
この捨からきている

歴史をしてみるがいい
民族も国家も個人も
みな繁栄のために滅んでいる
持たなくてもよいものを
持ったがゆえに自滅した

…
…

なかでもとくに
歴史をしてみるがいい… は 考えるところが多いですね。

**今日のできごと 5月19日(土)南相馬市生活復興ボラ
ンティアセンターのブログ 2012-05-19 18:27:25**
<http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-11254927788.html>

今日は、昨日の雨から一転、気持ちの良い天候に恵まれました。

今日から屋外ボランティア活動を再開いたしました。
朝からたくさんボランティアさんが来てくれました。



本当にありがとうございました。

また、今日は仮設住宅の支援にもたくさんボランティアさんが協力してくれました。

沖縄民謡を披露してくださるボランティアさんが来てください

ました。



集会所では、三味線の音色が響き渡りました。

本日の屋外ボランティア活動は、活動場所 9件
活動いただいた方 114人 でした。

仮設住宅支援のボランティア活動は、活動場所 5件
活動いただいた方 90人 でした。

合計 204人のボランティアのみなさん、ありがとうございました。

警戒区域解除から1ヶ月

どっさりんこ (2012.05.16 10:19)

相双ゆたどさ ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～

<http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/5415.html>

南相馬市小高区が警戒区域から解除されて1ヶ月が経とうとしています。

1ヶ月後の小高区に行ってきました。

自由に入りが出来るようになり少しずつ片付けている方、お家を直している片、

少しですがお店を再会されている方、がいらっしゃいました。
綺麗な花々や木々が色付いています。



沿岸部ではまだ一年前のまま。



沢山の工事関係者の方々が入り、電話線の工事、道路などが

されています。
 少しずつ少しずつ復興に向けて沢山の方々が頑張っています。



私たちが復興していく姿を追って行きたいとおもいます。

2年ぶりの運動会 紅白リレーは校庭で！南相馬市 写真で見ると東日本大震災【2012年5月12日】

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2012-05/fukuura.jsp>

小高区の福浦小は仮設校舎のある鹿島区の鹿島小の体育館と校庭で運動会を開催しました。

徒競走や紅白玉入れなどは体育館で行い、全校生で行う紅白リレーのみ校庭で行いました。校庭の放射線量は除染で下がっているものの、児童への健康と保護者の不安を考慮し、体育館と校庭を併用しての開催となりました。

会場には、伸び伸びと駆け回る児童の元気な歓声と保護者からの声援が響きました。



▲「よ～いスタート！」



▲親子で仲良く



▲平均台を渡る児童「おとっと」



▲紅白玉入れ「何個入るかな？」



▲慌てないで！だるまが落ちますよ▲何が出るかな？



▲スタートは1年生



▲保護者チームも特別参加



▲白熱したレースを展開



▲アンカーは6年生

試験田に田植え【2012年5月16日】

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2012-05/taue.jsp>

小高区の福浦小学校近くの水田では、放射性物質の影響を調べ来年の水稲作付けに生かす「試験田」の田植えが行われました。

試験田は、小高区を含め市内250か所、計40ヘクタールの試験田が設けられています。

